

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 三菱HCキャピタル株式会社（証券コード: 8593）

### 【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
債券格付	AA
債券格付（期限付劣後債）	A+
MTNプログラム格付	AA
発行登録債予備格付	AA
国内CP格付	J-1+

## Mitsubishi HC Finance America LLC（証券コード: -）

### 【据置】

MTNプログラム格付	AA
------------	----

### ■ 格付事由

- 三菱HCキャピタル（MHC）は、総合リース大手であり、三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）および三菱商事の持分法適用関連会社。日立製作所とも重要な金融パートナーとして連携している。長期発行体格付は、リース業界における極めて高い市場地位・競争力、良好な収益力および資本充実度、健全な資産の質、強固な流動性などを反映している。また、MUFGの支配・関与度および経営的重要度を踏まえ、MUFGのグループ信用力「AA」相当の1ノッチ下がMHCの長期発行体格付のフロアーになると評価している。
- リース業界における市場地位・競争力は極めて高い。銀行・商社・メーカーという多様なバックグラウンドを有し、国内外において強固な顧客基盤を構築している。事業セグメントは、顧客基盤を活かした安定収益源であるカスタマーソリューション、海外地域に加え、専門事業領域を担う航空、ロジスティクス（海上コンテナ、鉄道貨車）、不動産、環境エネルギー、モビリティと幅広い。各セグメントでは高い競争優位性を有し、事業領域や展開地域が多岐にわたることから、事業ポートフォリオの分散が進んでいる。
- 収益力は良好である。収益源は多様化しており、外部環境の変化による収益の変動性が抑制されている。利益規模は業界トップクラスであり、ROAなどでみた収益性も高い。安定収益源に加えて、コロナ影響から旅客需要が回復している航空や、海上コンテナリースが堅調なロジスティクスなどを支えに今後も高水準の利益を確保できよう。24/3期から開始した中期経営計画では、既存事業の効率化や高付加価値化、新事業の開発に取り組んでおり、収益力を一層引き上げられるか注目している。
- 資産の質の健全性は高い。与信運営方針は堅実であり、自己査定や引当基準は厳格である。過年度の貸倒関連費用や減損損失は、期間損益で十分に吸収可能な範囲にとどまっている。セグメント別にみると、航空については、良質な機体ポートフォリオを維持しており、市況も改善していることから、リスクは後退している。一方、不動産では、海外のファイナンス事業において、米国オフィスビル市況悪化の影響を受けている。もともと、同分野の残高はさほど大きくなく、追加損失も限定的なものにとどまるとみている。
- 資本充実度は良好である。内部留保の蓄積が順調に進んでいる上、資産の売却などを通じリスクアセットの拡大をコントロールしている。ハイブリッド証券などを考慮したJCR調整後の自己資本比率は高く、改善が続いている。高度に構築されたリスク管理態勢の下、リスク量に照らしても十分な資本を確保している。流動性に特段の懸念はない。メインバンクの三菱UFJ銀行を中心に多様な調達手段を有しており、円貨・外

貸ともに資金調達は安定している。ALM は保守的に運営されており、金利リスクや流動性リスクを適切にコントロールしている。

- (6) MUFG における支配・関与度および経営的重要度の評価を踏まえ、MHC の長期発行体格付にはグループによる支援の蓋然性を考慮している。MUFG による支配・関与度は相応に強いと評価している。MUFG が議決権を約 20% 保有し、代表取締役社長をはじめとする複数の取締役が三菱 UFJ 銀行出身者である。リスク管理や資金調達などにおける関係も深い。また、MUFG における経営的重要度は高いと評価している。MHC は、MUFG の戦略的に重要なパートナーとして、リースや事業運営などを手掛け、グループの金融サービス機能を補完する役割を果たしており、戦略的・機能的に重要な位置付けにある。

(担当) 坂井 英和・浅田 健太

## ■ 格付対象

発行体：三菱 H C キャピタル株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
三菱 UFJ リース株式会社第 32 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2014 年 10 月 27 日	2024 年 10 月 25 日	0.695%	AA
三菱 UFJ リース株式会社第 40 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 6 月 9 日	2026 年 6 月 9 日	0.310%	AA
三菱 UFJ リース株式会社第 45 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 10 月 25 日	2036 年 10 月 24 日	0.890%	AA
三菱 UFJ リース株式会社第 46 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 12 月 14 日	2036 年 12 月 12 日	0.890%	AA
三菱 UFJ リース株式会社第 52 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2017 年 7 月 13 日	2027 年 7 月 13 日	0.375%	AA
三菱 UFJ リース株式会社第 56 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 1 月 18 日	2028 年 1 月 18 日	0.455%	AA
三菱 UFJ リース株式会社第 58 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 5 月 28 日	2025 年 5 月 28 日	0.280%	AA
三菱 UFJ リース株式会社第 59 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 5 月 28 日	2028 年 5 月 26 日	0.385%	AA
三菱 UFJ リース株式会社第 61 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 7 月 12 日	2028 年 7 月 12 日	0.350%	AA
三菱 UFJ リース株式会社第 62 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300 億円	2018 年 10 月 29 日	2025 年 10 月 29 日	0.310%	AA
三菱 UFJ リース株式会社第 64 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 10 月 18 日	2028 年 10 月 18 日	0.474%	AA
三菱 UFJ リース株式会社第 66 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2019 年 4 月 11 日	2024 年 4 月 11 日	0.210%	AA
三菱 UFJ リース株式会社第 67 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2019 年 4 月 11 日	2029 年 4 月 11 日	0.390%	AA
三菱 UFJ リース株式会社第 68 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2019 年 7 月 11 日	2024 年 7 月 11 日	0.150%	AA
三菱 UFJ リース株式会社第 69 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2019 年 7 月 11 日	2026 年 7 月 10 日	0.240%	AA

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
三菱UFJリース株式会社第70回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2019年7月30日	2025年7月30日	0.200%	AA
三菱UFJリース株式会社第72回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2019年9月17日	2024年9月17日	0.120%	AA
三菱UFJリース株式会社第73回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2020年1月30日	2027年1月29日	0.280%	AA
三菱UFJリース株式会社第75回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	500億円	2020年1月23日	2025年1月23日	0.220%	AA
三菱UFJリース株式会社第76回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2020年1月23日	2030年1月23日	0.370%	AA
三菱UFJリース株式会社第78回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	170億円	2020年4月9日	2030年4月9日	0.500%	AA
三菱UFJリース株式会社第80回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	400億円	2020年6月8日	2025年6月6日	0.190%	AA
三菱UFJリース株式会社第81回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2021年1月29日	2028年1月28日	0.270%	AA
三菱UFJリース株式会社第82回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2021年1月21日	2026年1月21日	0.150%	AA
日立キャピタル株式会社第50回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2014年3月20日	2024年3月19日	0.888%	AA
日立キャピタル株式会社第53回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2014年6月3日	2024年3月19日	0.815%	AA
日立キャピタル株式会社第55回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2014年9月11日	2026年9月18日	0.963%	AA
日立キャピタル株式会社第57回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2014年12月19日	2024年12月20日	0.616%	AA
日立キャピタル株式会社第61回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年6月9日	2026年6月19日	0.310%	AA
日立キャピタル株式会社第66回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年6月13日	2024年6月20日	0.260%	AA
日立キャピタル株式会社第67回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年6月13日	2027年6月18日	0.330%	AA
日立キャピタル株式会社第72回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年4月23日	2025年4月18日	0.280%	AA
日立キャピタル株式会社第75回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年7月11日	2028年7月20日	0.355%	AA
日立キャピタル株式会社第79回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	250億円	2019年10月25日	2024年10月18日	0.120%	AA
日立キャピタル株式会社第80回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年10月25日	2029年10月19日	0.280%	AA
日立キャピタル株式会社第83回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年2月28日	2025年2月20日	0.180%	AA
日立キャピタル株式会社第84回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年2月28日	2030年2月20日	0.290%	AA
日立キャピタル株式会社第85回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2020年12月7日	2025年11月20日	0.180%	AA

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
日立キャピタル株式会社第86回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年12月7日	2030年12月20日	0.400%	AA
日立キャピタル株式会社第87回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2021年2月2日	2024年1月19日	0.060%	AA
第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2021年12月1日	2024年11月29日	0.050%	AA
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2021年12月1日	2027年3月1日	0.190%	AA
第3回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2021年12月1日	2031年12月1日	0.370%	AA
第4回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	400億円	2022年1月31日	2029年1月31日	0.330%	AA
第5回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2022年1月24日	2029年1月24日	0.330%	AA
第6回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2022年9月16日	2029年9月14日	0.629%	AA
第7回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2023年7月27日	2026年7月27日	0.300%	AA
第8回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）	100億円	2023年7月27日	2028年7月27日	0.454%	AA
第9回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2023年8月4日	2030年8月2日	0.743%	AA
第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	1,000億円	2021年9月27日	2081年9月27日	(注)	A+

(注) 発行日の翌日から2026年9月27日までの利払日においては年0.630%。2026年9月27日の翌日から2046年9月27日までの利払日においては1年国債金利に0.720%を加えた値。2046年9月27日の翌日以降の利払日においては1年国債金利に1.720%を加えた値。

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	6,000億円	2023年9月1日から2年間	AA

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	13,000億円	J-1+

発行体：三菱HCキャピタル株式会社  
Mitsubishi HC Finance America LLC

【据置】

プログラム名	Euro Medium Term Note Programme
発行限度額	60億米ドル相当額
プログラム設定日	1999年9月14日
ステイタス	直接・無条件・無担保・非劣後の債務で、他の無担保・非劣後債務と同順位
信用補完等	子会社については三菱HCキャピタル株式会社の保証付き
特約条項	ネガティブ・プレッジ条項、クロス・デフォルト条項
格付	(優先債) AA

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年1月15日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩  
主任格付アナリスト：坂井 英和
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「リース」(2013年7月1日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2022年9月1日)、「ハイブリッド証券の格付について」(2012年9月10日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 三菱HCキャピタル株式会社  
Mitsubishi HC Finance America LLC
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
なお、本件劣後債につき、約定により許容される利息の支払停止が生じた場合、当該支払停止は「債務不履行」に当たらないが、JCRでは債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

**予備格付：**予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

**MTN プログラム格付：**プログラム格付はプログラムに対する信用格付です。個別のノートの信用力はプログラム格付と同等と判断されるケースもありますが、クレジット・リンク・ノートやエクステンジャブル・ノートなど、元利支払いが第三者の信用状況に依存するノートなどではプログラム格付と異なると判断されることもあります。JCRでは、発行体から依頼がある場合などを除き、通常、プログラムに基づき発行される個別のノートに対する信用格付は行っていません。

## ■NRSRO 登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル